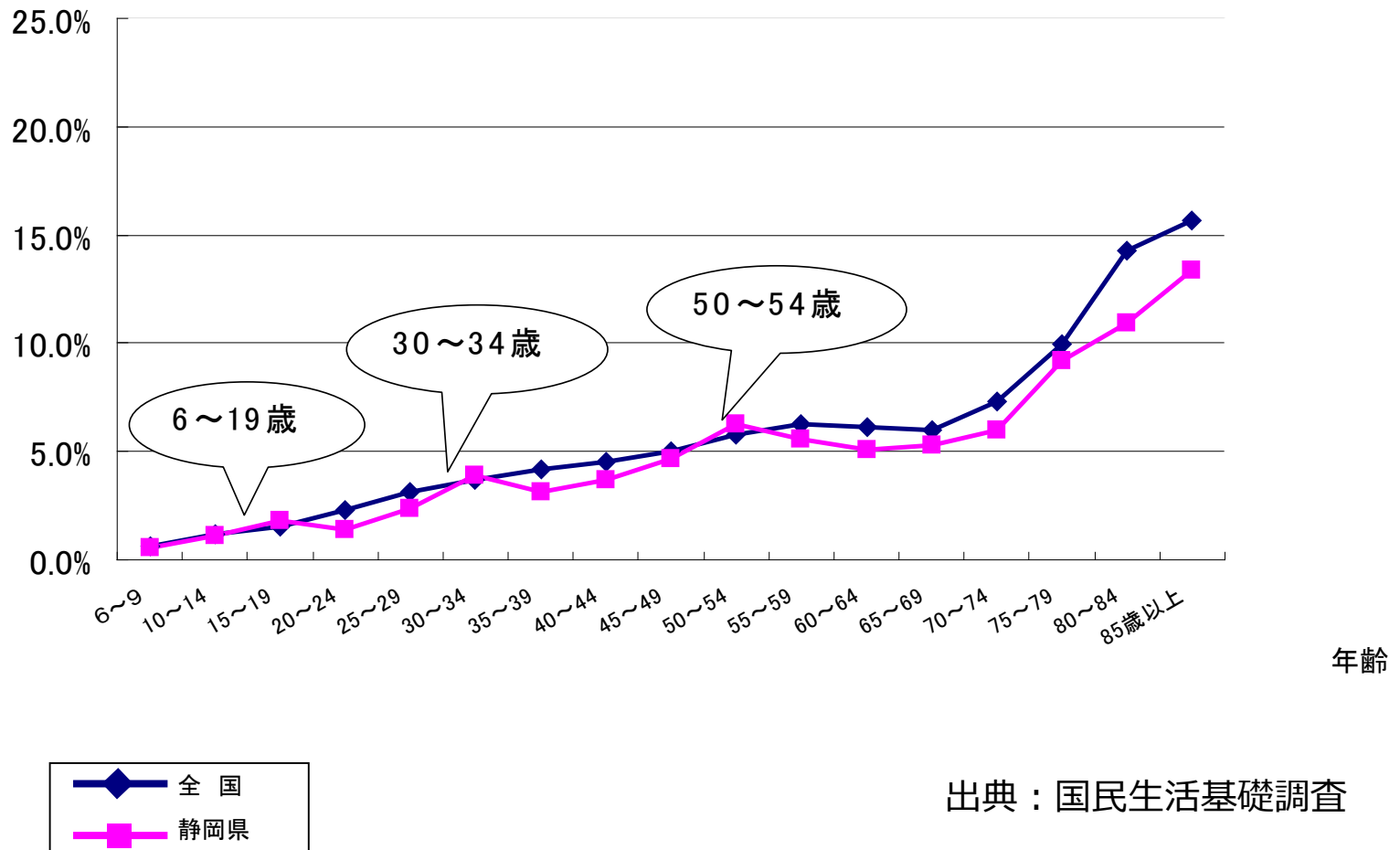


# 健康経営を推進する背景①

健康上の理由で仕事や家事に影響ありの割合（平成25年）



出典：国民生活基礎調査

# 健康寿命のさらなる延伸を目指して

## 「しずおかまるごと健康経営」プロジェクトの推進

県民の健康寿命の更なる延伸を経営的な視点から考え、戦略的に健康づくりを実践する。

## コンセプト

静岡県で “暮らす” “働く”

“育つ” と元気になれる

～ 働いてよし、住んでよし～



# 「しずおかまるごと健康経営」プロジェクト

## 地域における健康経営の強化 ⇒

無関心層への働きかけ



- ・地域住民等へ健康に関する情報を伝える「健幸アンバサダー」を養成

## 企業における健康経営の強化 ⇒

働き盛り世代の生活習慣病予防

- ・企業とのネットワーク会議を設立
- ・企業の健康づくりを応援するための情報発信
- ・優良事業所の表彰、好取組の情報発信
- ・健康づくり推進事業所宣言事業所の取組支援
- ・社内食堂等におけるヘルシーメニューの提供支援



## 家庭における健康経営の促進 ⇒

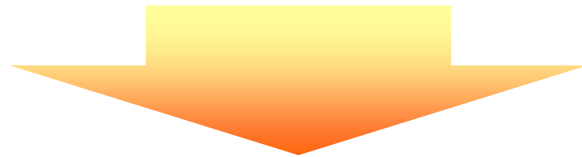
よい生活習慣を身につける  
+  
こどもから大人への働きかけ

- ・こども版ふじ33プログラムの作成
- ・こどもの頃からの3要素「運動」「食生活」「社会参加」の普及
- ・アプリによる生活習慣の学習、将来像の見える化
- ・こどもだけでなく家族と一緒に実践



# 新たな「人生区分」提示の目的

- 健康寿命相当年まで“老年”の考え方を引上げ



- 超高齢社会に対する前向きなイメージの醸成
- 価値や文化、技術の継承など世代間をつなぐ役割を担う世代の意識付け
- 健康長寿の3要素の1つである“社会参加”の増加により、健康寿命のさらなる延伸を図る

# ふじのくに型人生区分

- 新たな年齢区分の考え方を県から発信

呼 称		年齢区分	説 明
老年	百寿者	100歳以上	白寿後（100歳）以上
	長 老	88 - 99歳	米寿（88歳）白寿（99歳）まで
	中 老	81 - 87歳	傘寿後から米寿前まで
	初 老	77 - 80歳	喜寿（77歳）から傘寿（80歳）まで
壮年	<b>壮年熟期</b>	<b>66 - 76歳</b>	<b>経験を積み、様々なことに熟達し、 社会で元気に活躍する世代(働き盛り世代)。 (健康寿命 男性71.68歳、女性75.32歳)</b>
	<b>壮年盛期</b>	<b>56 - 65歳</b>	
	<b>壮年初期</b>	<b>46 - 55歳</b>	
青 年		18 - 45歳	社会的・生活的に成長・発展過程であり、 活力みなぎる世代。 (農水省事業や地区商工会議所で45歳まで青年扱い)
少 年		6 - 17歳	小学校就学から選挙権を有するまでの世代。
幼 年		0 - 5歳	命を授かり、人として発達・発育する世代。

# ふじのくに型人生区分への反応

後期高齢者と言われるのとは違った気持ちです。健康に気をつけて社会参加したいと思います。75歳女性

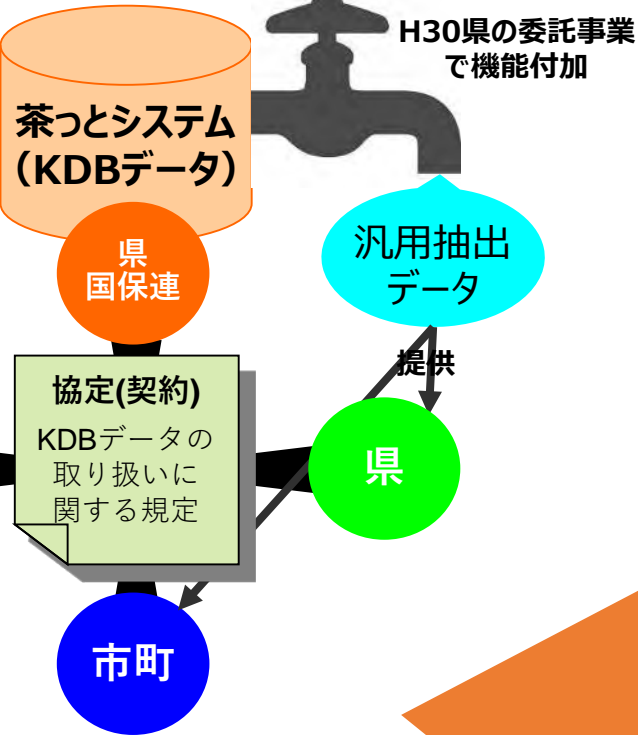


「人生区分」では壮年熟期。まだまだ健康でいたいと思っています。73歳男性

私もまだ老年じゃなく壮年ですね。71歳女性

私は壮年初期。仕事が大変と思うこの頃ですが、まだ出来ると前向きに考えられる。48歳女性

何だまだ壮年なのか、働き盛りなのかと改めて生きがいを感じた。健康を保ちながら自信をもって生きていこう。73歳男性

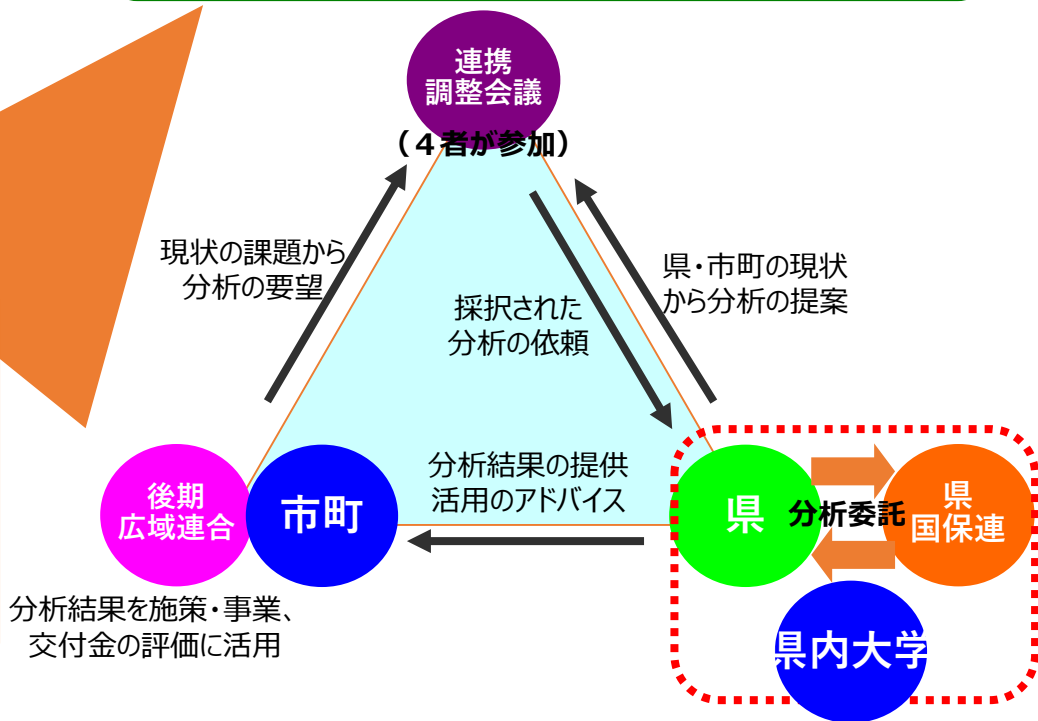


### ステップ2 (分析・施策反映)

- 連携調整会議の開催(既存会議を想定)
  - ① 市町・広域連合・県からデータ分析の要望・提案を提出
  - ② ①の提案から実施するものについて協議・採択
  - ③ 採択されたものについて県がデータを分析し、市町・広域連合にフィードバック(委託想定2~300万程度)
- 市町・広域連合・県における施策反映
  - ① 分析結果を施策・事業に活用
  - ② 保険者機能強化推進交付金への活用(市町・県のみ)

### ステップ1 (事前準備)

- データの取り扱いに関する4者協定の締結
  - ・個人情報の取り扱い
  - ・匿名データの提供 等
- 医療・介護連結データのプログラム開発
  - ・茶っとシステムの改修に合わせて抽出機能の付加(県から委託)



※静岡県資料,一部改編